

佐陀川 広域河川改修事業

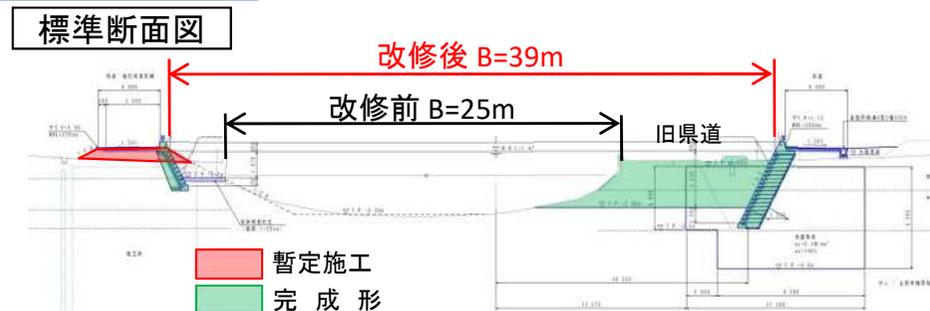
河川概要

佐陀川は宍道湖から旧鹿島町の中心市街地を流下し日本海に注ぐ河川延長8.35kmの一級河川であり、江戸時代の1785(天明5年)に運河と宍道湖の放水路として整備された人工水路である。

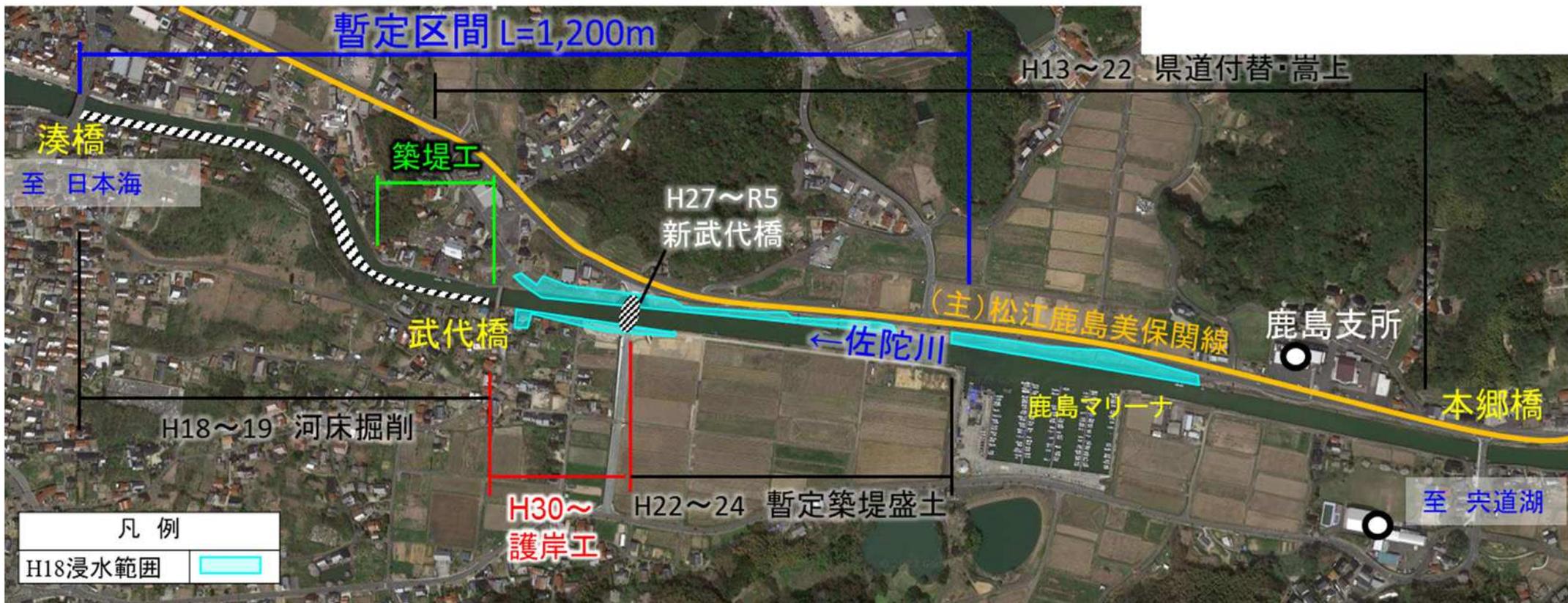
本河川は日本海と宍道湖を結ぶことから、水面勾配がほとんど無く、潮位変動の影響により流向が変化する河川である。S47年の宍道湖の洪水では水位上昇により佐陀川の堤防を越え大きな浸水被害が発生した。近年でも、日本海の高潮やH18年の洪水によって沿川の家屋浸水被害が度々生じており、重要な課題となっている。

事業概要

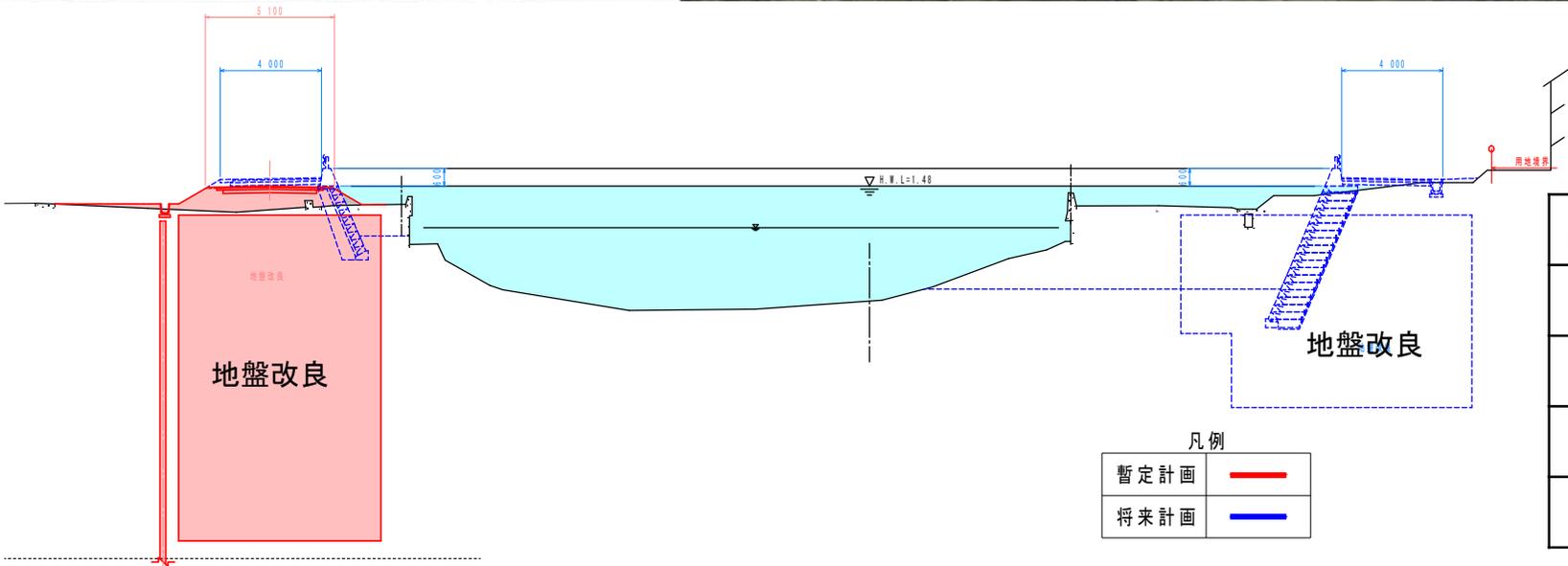
1. 年超過確率1/10規模の洪水に対して、旧鹿島町市街地の浸水被害の解消を図る。
2. 河川の拡幅、河床の掘削、堤防の築造、橋梁の改築により流下能力の向上を図る。



現在の整備状況



凡例	
H18浸水範囲	



凡例	
暫定計画	
将来計画	

総事業費	88.15億円
進捗率	29%
完了年度	令和27年度
費用対効果	1.34
対応方針	継続